

# Château St. Ferdinand

シャトー・サン・フェルディナン



"Le terroir par essence, la liberté par nature"

「テロワールは本質にして、自由は自然のままに」

パリ出身のノエミ・タヌーは、栽培学・醸造学・農業工学を修めた後、ボルドーの共同組合のコンサルタントをしながらいつか自身のワインを造るという夢を抱き続けてきましたが、2020年、1975年に設立されたこのシャトーを譲り受ける機会を得て夢を実現させました。翌年よりビオロジック栽培を開始し、2024年に「ECOCERT」の認証を取得しています。

「リュサック・サン・テミリオンには170人のワイン生産者がいますが、ビオロジック栽培を実践しているのは私を含めて6人だけです。というのもここは海洋性気候で湿気を含んだ海風が吹き入れるため、リスクがとても高いのです。常に畑に出て手入れをし続けなければならないのはもちろんですが、土中と畑の周囲いずれにも生物多様性を確立して畑を健康に保ち、ぶどう樹の耐性を高めなければなりません。シャトーを取得して以来、畑の周囲に合計600本以上の多様な樹木を植えて生け垣を構築し、生態系の回廊を形成してきました。また鳥の巣箱や餌箱、コウモリ用の小屋、ミツバチの巣箱をたくさん設置したり、移動式鶏舎によるニワトリの飼育も行っています。耐性を高めるためバイオダイナミも学んでおり、ハーブティーやブレパレーションの散布などを段階的に実施しています。これらは私の小さな畑における施策ですが、私は、ボルドー全域でこの地の動植物を保護し、多様な生態系を守るべきだと考えています。そのため「LPO（鳥類保護連盟）」、「サウスアトランティック国立植物保護区」、「アキテーヌ植物保護区」、「樹木・景観協会」に加盟し、私にできることを実践しています。

彼女のこうした取り組み、そして「生きているグラン・ヴァン」とも言うべき、大自然の恩寵賜る豊潤にして馥郁たるワインが高く評価され、2023年には名門誌「Terre de Vins」が主催する醸造家コンクールに参加した300人の中から年間最優秀生産者賞を受賞しました。また、同年9月にイギリス国王チャールズ3世がボルドーを公式訪問した際に開催された特別ワイン試飲イベントにおいては、国王が「無農薬栽培を実施しており、職人魂に溢れ、社会的責任を果たしている生産者」のワインを所望し、彼女の作品が唯一のワインとして選ばれました。

所在村	Lussac
所有畑面積	6.6ha
醸造家	Noémie Tanneau
趣味	家族と過ごす時間、自然散策、野菜畑の手入れ、2人の娘とのボードゲーム、演劇、ダンス、音楽の鑑賞
継承年	2020年
栽培	2021年よりビオロジック栽培。2024年に「ECOCERT」の認証取得。段階的にバイオダイナミを実践
醸造	天然酵母のみで発酵。100%除梗。清澄は行わず、軽くフィルターをかけてビン詰め
販売先	フランス国内90%（レストランが多い、ワインショップ、グロッサリー）、輸出10%（EU各国）
掲載実績	「La Revue du vin de France」、「Terre de Vins」、「Wine Enthusiast」、「CellarTracker」、「Wine-Searcher」等多数
Web	<a href="https://www.chateau-st-ferdinand.com">https://www.chateau-st-ferdinand.com</a>



## Lussac Saint-Emilion Cuvée F

リュサック・サン・テミリオン キュヴェ・エフ

<ラベルデザインは6種類あります。すべてこのシャトーの畑に生息する鳥たちです。中身は同じワインです> AOC Lussac Saint-Emilion。メルロ100%、リュサック村に2ha。粘土石灰質・泥土質土壌。平均樹齢20年。収量は42hl/ha。ステンレスタンクで発酵後、12ヶ月間熟成。清澄は行わず、軽くフィルターをかけてビン詰め。キュヴェ名の「F」は、シャトー名の「Ferdinand」、「Femme」（女性）、「Faune et Flore」（動植物）の頭文字です。



## Lussac Saint-Emilion

リュサック・サン・テミリオン

AOC Lussac Saint-Emilion。メルロ100%、リュサック村に1ha。粘土石灰質土壌。平均樹齢30年。収量は35hl/ha。ステンレスタンクで発酵後、50%をステンレスタンクで、50%をアトリエ・サントル・フランス・エ・ナダリエ社製のアリエ産400リットル樽（新樽率30%）で24ヶ月間熟成。清澄は行わず、軽くフィルターをかけてビン詰め。ラベルの絵は、大西洋岸パイオンス在住の高名なアーティスト、エリザ・エスキュール女史が描いたもので、このシャトーの世界観を幻想的に表現したものです。